

社会福祉法人永山会

令和6年度事業計画

【法人】

令和5年5月に新型コロナウイルスの感染症分類が5類となり、規制や制限が緩和され経済や社会生活が動き始めましたが、コロナウイルスに罹患すれば重症リスクが高まる介護施設や障害者施設では、集団感染を防ぐため慎重な対策を取ってきました。

令和6年度は高齢者施設でも行事や面会の制限を緩和する取り組みが進むことと思いますが必然的に感染のリスクは高くなることが懸念されます。感染予防を徹底するため、医療機関との連携やワクチン接種などの感染予防を継続し、各種関係機関との連携に努めていきます。

わが国では、東日本大震災をきっかけにBCP(事業継続計画)の策定が重要視され、令和3年度の介護報酬改定で令和6年4月1日までにBCPを策定することが義務付けられました。その取り組みの最中である令和6年1月1日、能登半島地震が発生し、大きく社会を揺るがしました。被災地ではライフラインが長期にわたり断絶し、あたりまえの日常生活が送れなくなりました。高齢者施設や障害者施設、病院などはライフラインの断絶だけでなく、日常生活が送れなくなった従事者が他地区に移住する等、マンパワー不足も大きな課題となっています。当法人でもBCPプロジェクトチームが作成した「感染症編」「自然災害編」のBCP(事業継続計画)を確たるものにするために、自然災害や火災などを想定した訓練実施などの備えを充実し、他地区の自然災害に学び、災害対策能力の向上を図ることが重要です。

令和6年4月の介護報酬改定では1.59%のプラス改定となりました。特養は基本報酬で3.6%のアップです。また、介護業界の慢性的な人材不足や財政不足に陥っている状況を解消することを目的として、令和6年6月から介護職員や介護職員以外にもベースアップができるように、複数ある処遇改善加算を一本化することになりました。

介護報酬が上がると利用者負担も増えます。それにより利用者が介護サービスを控えることも考えられます。また、介護サービスを受けた時の負担割合についても1割負担の利用者を減らし、2~3割負担の利用者を増やすという負担額増の案が検討されています。

利用者に安心して介護サービスを利用していただくためにも介護サービス事業所は質の高いサービスを目指し、利用者のニーズに応えられる『選ばれる施設づくり』が求められます。そのためには人材育成や活発な事業運営が要(かなめ)となります。若い職員を次世代管理職として育成することや、従業者の月額賃金の見直し、介護業界の慢性的な人手不足の中で職員の負担軽減に資する方策として、介護ロボットやICTの活用など、見守り機器、テクノロジー(科学機器)を導入していきます。

施設整備においては、そせい苑、しがそせい苑の建物設備の老朽化に伴い、施設改修計画に沿った設備の更新などの保守、管理を実施します。

令和5年度は令和3年度に計画した3ヶ年の中期計画が終了しますが、引き続き達成が不十分な計画は継続していきます。

令和6年度は、良質な介護サービスを提供するとともに、職員一人ひとりが法令を遵守し

ヒューマンエラーや不正な行為を許さず、永山会基本理念である『明るく、楽しく、美しく』に基づき、利用者一人ひとりの尊厳ある生活を守り、自律した生活支援に努め、日常生活を満足して暮らしていただける事業運営を目指します。

1. 長期計画（6か年）令和3年～令和8年

1. 社会福祉法人のガバナンス強化及び透明性の確保に努めます。
2. 効果的なリスクマネジメントを構築します。
3. 利用者の自己実現の達成を目指します。
4. 職員の適正やキャリアに沿った教育体制を構築し人材の育成を図ります。

2. (新)中期計画（3か年）令和6年～令和8年

1. 介護ロボットなどのテクノロジーの活用で、事業運営の効率化を図り法人経営の安定を図ります。
2. 策定したBCP(事業継続計画)に基づき訓練することで必要な知識や技能を習得し職員の意識を高めます。また、自治会などと共同し地域の防災活動に取り組みます。
3. 活発な事業運営を展開するとともに、働きやすい職場作り、働き方改革の推進 職員の離職防止・定着促進を図ります。
4. 介護職員の人材確保活動を継続し、介護職員の技術向上の取り組み、キャリアパスに沿った新人・現任研修や中途採用者また、派遣職員の研修の充実を図ります。
5. 高齢者(入居者)の望む暮らしをサポートするため、認知症の対応力向上、看取りへの対応強化、高齢者虐待防止の推進等地域包括システムを推進します。

3. 令和6年度重点課題

1. 安定した経営(財務の安定)
物価高騰に対する支出削減への取り組み
介護保険報酬における各種加算の算定など適正な収入の確保
2. 感染症や自然災害に強い施設づくり
BCP(事業継続計画)の訓練と災害対策能力の向上
3. 地域や家族との結びつきを重視し積極的な交流を進めます。
地域高齢者のサロンの再開、特養家族会の実施、
ケアハウスの見学会
4. 未来に向けた人材の確保と働きやすい職場づくり
生産性向上に先進的に取り組む、職員の負担軽減
資格取得に対する支援、ハラスメント防止

【事業所名】 特別養護老人ホームそせい苑・短期入所生活介護

重点目標

- (1) 利用者にとって快適な生活を提供するために環境整備を徹底し、サービスの質の向上を図ります。
- (2) 職員育成のため勉強会などを行い、介護の正しい知識と技術を身につけます。

1. 安定した経営

具体的目標と指針

特養：

- (1) ケアで予防できる病気（誤嚥性肺炎、尿路感染症等）に対しては入居者一人ひとりの状況にあったケアに努め、入院を防ぎます。
- (2) 退所から入所までの空床期間を7日間とし、待機者を確保するために利用者面談を毎月2名以上行います。

ショートステイ：

- (1) 新規利用者獲得数を月平均3名とする。家族やケアマネージャーから相談を受けた際、迅速に対応し、信頼関係を構築します。

※ 平均稼働率98%（延べ利用者数：1,435日以上）

2. 地域貢献

具体的目標と指針

- (1) 下鳥羽地域包括支援センターと連携を図り、地域の取り組みに積極的に参加します。

3. サービスの質の向上

具体的目標と指針

- (1) 職員が使用している介護や業務マニュアルを見直し、指導方法の統一に努めます。
- (2) 離床センサーを導入することで転倒事故予防に努めます。
- (3) 眠りスキャンを導入し、ご利用者様の睡眠状態や生活パターンを把握することでケアの質を向上させます。

4. 人材確保と定着

具体的目標と指針

- (1) 毎月勉強会を開催し、テーマは会議内で決め、勉強会の内容は職員が調べる事で考える力を伸ばします。

5. 感染症対策

具体的目標と指針

- (1) 感染症を持ち込まないように、職員の健康管理を徹底する。また、ショートステイ利用者は迎えの際に健康確認を徹底します。
- (2) 感染症発生時の対応については特養会議内で感染症対策の勉強会を年2回以上行います。

6. 災害対策

具体的目標と指針

(1) 災害時に危険になりうる箇所がないかの確認を1ヶ月に1回行い、2次災害の予防に努めます。

(2) 特養会議で避難経路や災害時のシュミレーションの確認を定期的に行う

7. 施設の保守・修繕

具体的目標と指針

(1) 面会が緩和されていく中で、環境整備を行うことで清潔な施設を保ちます。

ご利用者様が快適に生活できるように、故障や修繕が必要な箇所を早急に見つけ、対応します。

【事業所名】 そせい苑デイサービスセンター

重点目標

- (1) 稼働率の向上
- (2) 個別機能訓練加算の算定再開

1. 安定した経営

具体的目標と指針

- (1) 各事業所への訪問活動を引き続き行うとともに、未訪問の事業所を探し、訪問活動の幅を広げます。
- (2) 送迎ルートを定期的に見直し・更新を行い最適なルートを走行することで送迎時間の短縮やガソリン代の節約に繋がります。

2. 地域貢献

具体的目標と指針

- (1) 通所部会に引き続き参加することで、各事業所との情報共有・連携が円滑に行えるよう努めます。
- (2) 地域包括が携わるウォークラリー等のイベントに参加することで、地域貢献の機会を増やします。

3. サービスの質の向上

具体的目標と指針

- (1) 介助方法については職員間でよく話し合い、情報共有を行い、ケアの標準化に努めることでサービスの向上に繋がっていきます。
- (2) 現在行っているレクリエーション以外にリハビリや外部のボランティアを取り入れ、ご利用者に選ばれる施設作りに努めます。

4. 人材確保と定着

具体的目標と指針

- (1) 職員が思っていること・悩んでいることをデイ会議や個人面談で把握・改善することで負担無く働ける環境作りに取り組みます。

5. 感染症対策

具体的目標と指針

- (1) 現在行っている手洗い・うがいを継続して取り組んでいくことで施設内に感染症を持ち込むことが無いよう努めます。
- (2) 職員が感染源にならないよう日頃からの体調管理に気を配り、少しでも不調がある際は自己判断せず上席者に相談するよう職員間で共有します。

6. 災害対策

具体的目標と指針

- (1) 地震や水害の際にご利用者の生命を守るように自然災害時のマニュアルを把握しデイ会議で訓練をします。

7. 施設の保守・修繕

具体的目標と指針

- (1) リフト浴用の椅子や掃除機など既存の物品を大切に扱い、長期的に使用出来るように職員間で注意して取り扱います。
- (2) 月に1度設備点検を行い修理が必要な場合はすぐ修理を行います。

【事業所名】 そせい苑ケアプランセンター

重点目標

1. 医療機関や地域包括支援センターへの営業活動を積極的に行い、担当件数を増やします。
2. 利用者の思いを受けとめ、本人の望む生活に近づけるように支援します。

1. 安定した経営

具体的目標と指針

- (1) 毎月3件以上給付管理数を増やしていき、増収を図って行きます。介護予防支援も積極的に受入れ、年度内には要介護換算で165件の給付管理を目指します。
- (2) 事業運営の進め方や地域への広報、地域での役割、介護報酬における適切な居宅介護支援の加算算定に努めます。

2. 地域貢献

具体的目標と指針

- (1) 個別避難計画を利用者・家族とともに策定します。地域ケア会議へ参加することで、近隣住民や消防・警察など各関係機関とのネットワークを構築し、要介護者が災害時に想定される危険性や各関係機関が対応する役割などを平常時から共有します。
- (2) 認知症介護をする家族をサポートし、サービス利用に繋がります。

3. サービスの質の向上

具体的目標と指針

- (1) 担当件数の基準が35件/人から44件/人に増えても、センター内でスケジュール管理をすることで効率的に訪問し、サービスの質を下げることなくマネジメントができるようにします。
- (2) 接遇マナーを学び、適切なケアマネジメントや苦情対応ができるようになります。

4. 人材確保と定着

具体的目標と指針

- (1) 年6回開催する京都市老人福祉協議会居宅介護支援部会や伏見区サービス事業所連絡会、また随時開催している京都府介護支援専門員会、社会福祉協議会の研修を確認し、キャリアパス・個別研修計画に応じた研修へ職員各々が年4回以上参加します。
- (2) 年2回の面談や毎週1回ミーティングを通じてコミュニケーションを図り、働き甲斐のある職場作りを構築し、離職を防止します。

5. 感染症対策

具体的目標と指針

- (1) 職員個々の体調管理に努め、感染拡大予防の意識を高く持つことで、職場・施設・利用者へ感染症を持ち込まないようにします。
- (2) 発熱外来や訪問診療の受け入れ状況など、地域の医療体制を把握し、迅速かつ適切に連携が図れるよう努めます。また、日頃からかかりつけ医と病院との連携を図り、支援体制を強化できるように調整して行きます。

6. 災害対策

具体的目標と指針

- (1) 平常時より利用者や地域の高齢者を支援するための協力体制を自治会と構築します。
- (2) 個別避難計画対象者以外の利用者についても、想定される危険性を本人、家族と共有し、平常時より利用者一人一人に合わせたサポート体制を調整して行きます。

7. 施設の保守・修繕

具体的目標と指針

- (1) 業務で使用する備品のメンテナンスをこまめに行うなど、備品を大切に使います。
- (2) 基本理念である『明るく・楽しく・美しく』に基づき、毎日の掃除の徹底や効率的に掃除できる機器の導入により施設内外を清潔に保ちます。

【事業所名】 下鳥羽地域包括支援センター

重点目標

- (1) 高齢者の望む暮らしをサポートします。
- (2) 職員の適正やキャリアに沿った人材確保と職員教育を目指します。

1. 安定した経営

具体的目標と指針

- (1) 可能な限り PDF などを利用しペーパーレスを目指します。
- (2) 介護報酬改定を見据え、予防支援の件数を居宅介護支援事業所と連携します。

2. 地域貢献

具体的目標と指針

- (1) IT を駆使し感染予防に留意しながら絶え間のない地域連携の継続をします。
- (2) 消防・警察と連携し適宜合同の全戸訪問を実施し、地域の防犯・防災に努めます。

3. サービスの質の向上

具体的目標と指針

- (1) 外部の研修会に積極的に参加し、資質の向上に努めます。
- (2) ヒヤリハット報告書を必ず 1 人 1 枚提出し、リスクマネジメントに繋がります。

4. 人材確保と定着

具体的目標と指針

- (1) 毎月 1 回必ず全体会議を開催し全体の共有を図ります。
- (2) 適宜職員の個人面談を行い、必要に応じたメンタルサポートをします。

5. 感染症対策

具体的目標と指針

- (1) 健康すこやか教室や機関紙を通じ、時期に応じた感染予防の普及啓発をします。
- (2) BCP マニュアルを遵守し、職員間の感染対策の徹底をします。

6. 災害対策

具体的目標と指針

- (1) 地域・消防・警察・事業所で具体的な災害対策・シミュレーションの場を設けます
- (2) BCP マニュアルを遵守し、災害対策の共有をします。

7. 施設の保守・修繕

具体的目標と指針

- (1) 電動自転車のメンテナンスを毎日実施し劣化を防ぎます。
- (2) 物品の整理整頓を定期的実施し、必要時修理に出すよう心掛けます。

【事業所名】 介護老人福祉施設まどか

重点目標

- (1) 施設全体でよりきめ細やかな丁寧なサービスを提供します。
- (2) 生産性の向上を目指し、働きやすい職場環境を整えます。

1. 安定した経営

具体的目標と指針

- (1) 入院リスクの高い誤嚥性肺炎や尿路感染を予防する為に、口腔ケアの徹底、介護内容を見直し、これらを理由とする入院者数を減らし、平均稼働率 97%を目指します。
- (2) コスト意識を向上して、水道の出しっぱなしをしない、誰もいない部屋の電気を消す、印刷等は裏紙を使用する等の使用量の削減をします。
- (3) 入所判定会議ごとに、入所待機者 2 名の確保、退所後の空床を 5 日以内にする為に、ショートステイと協同し事業者への案内、発信を行います。

2. 地域貢献

具体的目標と指針

- (1) 運営推進会議などで地域住民の方と情報を共有しサロンの開催などを進めます。
- (2) 地域行事に積極的に参加をし、避難訓練なども地域の方が参加できるようにします。

3. サービスの質の向上

具体的目標と指針

- (1) ご利用者が楽しむことができる企画をユニットごとに 1 ヶ月に 1 回実施します。
- (2) 見守り機器の導入、インカムを発展させ、ケアの見直しと職場環境の改善につなげます。

4. 人材確保と定着

具体的目標と指針

- (1) 職員の介護技術、知識の向上を目的とした勉強会を小グループで開催します。
- (2) 全体会議で困りごとや意見を聞き、人間関係を深め、働きやすい環境を作ります。

5. 感染症対策

具体的目標と指針

- (1) 感染症を持ち込まない・拡大させない。感染対策を引き続き徹底をします。
- (2) BCP 研修を通して、感染症発生前、発生時に適切に対応できるようにします。

6. 災害対策

具体的目標と指針

- (1) 台風の接近、大雪などが予想される場合は、事前準備、二次災害の予防に努めます。
- (2) BCP 研修を通して、自然災害発生時に迅速に対応できるようにします。

7. 施設の保守・修繕

具体的目標と指針

- (1) ユニット毎に、整理整頓する日を設け、美しい生活環境の維持に努めます。
- (2) 施設内のインターネット環境を整備し、将来に向けた準備を進めていきます。

【事業所名】 まどかショートステイ

重点目標

- (1) ご利用者にとって居心地が良いと言って頂けるショートステイを目指します。
- (2) ご利用者がショートステイで思い思いの時間を過ごすことができるメニューを充実させます。

1. 安定した経営

具体的目標と指針

- (1) 訪問活動を展開し新規ご利用者獲得を目指し、平均稼働率 90%を維持します。
- (2) ショートステイで行っている活動をご利用者、ご家族、担当介護支援専門員へ定期的に発信していきます。

2. 地域貢献

具体的目標と指針

- (1) 地域包括支援センターとも連携をして、緊急ショートステイの受け入れを迅速に対応できるようにします。
- (2) 地域の行事に積極的に顔を出し、地域住民や民生委員の方ともなじみの関係性を構築していきます。

3. サービスの質の向上

具体的目標と指針

- (1) 接遇マナーを学ぶ事をご利用者、ご家族に失礼がない接遇を目指します。

4. 人材確保と定着

具体的目標と指針

- (1) 職員の介護技術、知識の向上を目的とした勉強会を小グループで開催します。
- (2) 全体会議で困りごとや意見を聞き、人間関係を深め、働きやすい環境を作ります。

5. 感染症対策

具体的目標と指針

- (1) 施設内に感染症を持ち込ませないようにし、入所時は、自宅前で検温、体調確認。同居しておられるご家族の体調確認を行います。
- (2) BCP 研修を通して、職員一人一人が感染症発生時に迅速に対応できるようにします。

6. 災害対策

具体的目標と指針

- (1) 台風の接近、大雪などが予想される場合は、事前準備、二次災害の予防に努めます。
- (2) BCP 研修を通して、自然災害発生時に迅速に対応できるようにします。

7. 施設の保守・修繕

具体的目標と指針

- (1) ユニット毎に、整理整頓する日を設け、美しい生活環境の維持に努めます。
- (2) 居室フロアカーペットの張り替え工事を実施します。
- (3) 修理、修繕箇所があれば、上席者に速やかに対応します。

【事業所名】 まどかⅡ番館特別養護老人ホーム

重点目標

- (1) ICT 機器（見守りソフト【眠りスキャン】・インカム）の導入や、現場で勉強会を開催し、ご入居者に快適に過ごして頂けるように生活環境を整える。
- (2) 人材定着を図るために、職員間でのコミュニケーションを密に取り、働きやすい環境の整備を行う。

1. 安定した経営

具体的目標と指針

- (1) 口腔ケアの勉強会を開催し、口腔ケアの重要性を現場で共有する。入居者個々に合わせた口腔ケアを検討し、誤嚥性肺炎による入院者を減らし、目標稼働率 97% に近づける。
- (2) 入所判定会議で利用者情報の共有を行い、待機者の確保を図る。

2. 地域貢献

具体的目標と指針

- (1) 運営推進会議に出席している地域住民の方と情報を共有し、地域住民の社会資源として活用して頂けるように働きかける。

3. サービスの質の向上

具体的目標と指針

- (1) ICT 機器（眠りスキャン）を導入し、褥瘡リスクのあるご入居者の排泄間隔の把握を行い、褥瘡を発生させない。
- (2) 介護相談員派遣の機会を活用し、外部の目が入ることでサービス向上に努める。
- (3) 新型コロナウイルス 5 類移行に伴い、行事（夏祭り・敬老祝賀会・開設記念祝賀会）へのご家族の参加を再開する。
- (4) 季節ごとに楽しい食事会を企画する。（すき焼き・鍋・おでん等）

4. 人材確保と定着

具体的目標と指針

- (1) 業務内容の整理やマニュアルの整備を行い、無理・無駄のない業務内容を検討する。
- (2) 施設内全体会議で意見が挙がった、介護技術研修を開催する。

5. 感染症対策

具体的目標と指針

- (1) 職場内での感染予防対策をして感染症を持ち込まないように徹底する。
- (2) BCP（感染症）マニュアルを職員に周知し、感染症発生時に迅速に対応できるようにする。

6. 災害対策

具体的目標と指針

- (1) 災害発生時 BCP（自然災害）マニュアルに沿って二次災害を想定し早期復旧に努める。

7. 施設の保守・修繕

具体的目標と指針

- (1) 開設7年目を迎えるので、環境整備を見直し修繕箇所を早めに報告する。
- (2) 整理整頓を意識しご入居者の生活環境を良くする。

【事業所名】 まどかII番館デイサービスセンター

重点目標

- (1) 利用者一人一人がのびのびと心地よく過ごせるデイサービスを目指す。
- (2) 他のサービス事業所との情報共有や連携

1. 安定した経営

具体的目標と指針

- (1) 居宅介護支援事業所・包括支援への訪問を継続しケアマネージャーから直接話を伺い新規利用者を確保したこともあるので、引き続き訪問活動を行い新規の増加を目指します。
- (2) 必要ではない電気の消灯やエアコンの設定温度・水道蛇口の開閉・送迎車両の工夫とすぐに自分たちの注意だけで、始められる節約を各職員間で共有し出来る所から無理のない範囲で節約に対する意識を持ち、実施していきます。

2. 地域貢献

具体的目標と指針

- (1) 担当ケアマネージャーや訪問ヘルパー・訪問看護といった現在もかかわりのある他事業所の方との情報の共有や連携を引き続き行い、各ご利用者の現在行えている生活を維持していきます。
- (2) 令和5年度に高齢者体験という事で下鳥羽小学校に講師と言う形で参加させていただきました。令和6年度も社会福祉の拠点としてこのような機会を大切にし、ぜひ参加したいと考えております。

3. サービスの質の向上

具体的目標と指針

- (1) デイサービスに参加されているご本人が、様々なレクリエーション(外出も含む)やクラブ活動を選択し、やりたい事・やれる事を見つけて頂きデイサービスに参加する事で楽しみや出来た時の達成感を感じそれがやりがいとなる支援をしていきます。
- (2) 一部介助が必要なご利用者・ご自身で出来るが見守りを希望するご利用者が、安心して職員を頼りにすることができる様、声掛けのタイミングや方法・手を差し出すタイミングなど、そのご利用者に合った介助が行えるよう職員同士でも意見を出し合い技術向上に努めます。

4. 人材確保と定着

具体的目標と指針

- (1) 現在使用している業務分担表を引き続き活用し、改善が必要な箇所は随時行う事で、どこで・誰が・何をしているかがはっきりと見える現状を維持していきます。
- (2) 各職種の職員がお互いに連携し、声を掛け合う事で業務の効率化・負担の分散を行い、職員のコミュニケーション・意欲向上を図る。

5. 感染症対策

具体的目標と指針

- (1) 手洗いとうがいを基本に職員・ご利用者が一緒に取り組む事で、双方に今すぐできる健康管理に対する意識付けを行っていきます。
- (2) 引き続きお迎え時、乗車前に検温・体調確認(家族も含む)を行い安心して安全な環境を維持します。

6. 災害対策

具体的目標と指針

- (1) デイサービスの職員・ご利用者が一緒に参加する事で、実際に何か異常なことが起こった際、迅速に安全確保が行えるよう意識付けを行います。また、AEDや消火器といった普段は使わない物の使い方やその指導方法を学ぶ機会にもなる為、新人だけでなく全職員が等しく参加します。
- (2) 各ご家族・ご利用者・ケアマネージャーにご案内や報告を行っておりますが最近では災害が増えている為、都度【このような場合はこのように対応します】と案内の説明と必要であれば配布を行っていきます。

7. 施設の保守・修繕

具体的目標と指針

- (1) 現在の所、まどかⅡ番館で扱っている車両はアルト(茶)・ノートEパワー・ステップワゴン(シルバー)・ステップワゴン(ブルー)・ハイエース(レジラス)・原付バイクの6台となります。定期点検や車検の実施・洗車や清掃を行い安全で快適な車両を維持していきます。
- (2) 裏庭などデイフロアでは現在の所、修繕が必要な所は見つかっておりませんが壁や床・天井などもし異常が見つかれば早期に報告を行いご利用者や職員の安全を確保します。また日々の掃除をしっかりと行い、使っていて気持ちの良い空間の維持も継続します。

【 事業所名 】 まどかⅡ番館グループホーム

重点目標

- (1) 個々の活動性や認知機能の低下予防を目的とした楽しい働きかけをする。
- (2) 下肢筋力低下による転倒、骨折が生じないよう身体機能に応じて個別運動を実践する。

1. 安定した経営

具体的目標と指針

- (1) 転倒予防や体調管理に留意し、持病や身体状況の悪化を予防し、稼働率98%を目標とします。
- (2) 居宅介護支援事業所等と連絡を密にし、待機者を獲得し速やかに入所できる体制を整備します。

2. 地域貢献

具体的目標と指針

- (1) 運営推進会議での地域住民の意見や助言等を施設運営に反映すると共に、地域ケア会議にも参加し、地域課題の把握と情報を共有し、グループホームとして地域の取り組みに協力します。

3. サービスの質の向上

具体的目標と指針

- (1) 個々に応じた運動や体操を強化し、活動性や下肢筋力の低下を予防し、転倒なく生活が送れるよう支援していきます。
- (2) ICT 機器（インカム・眠りスキャン）を導入し、入居者の急変時や感染症発生時の連絡体制の強化、入居者の生活リズムや排泄間隔を把握し、高品質のサービスが提供できるようにします。
- (3) 感染症が蔓延しない限り、クラブ活動の継続、買い物外出や食事企画、近隣への散歩など余暇活動を充実させ楽しい暮らしを目指します。

4. 人材確保と定着

具体的目標と指針

- (1) 職員の欠員による減算が生じないよう法令通りに人員配置を遵守します。
- (2) 全体会議の継続、軽食会や茶話会を設け、職員間のコミュニケーション向上に努め、働きやすい環境を整備します。

5. 感染症対策

具体的目標と指針

- (1) 入居者、職員の体調管理を継続し、感染症が発症した際は感染症マニュアルに応じた初動対応を取り、クラスターを予防します。
- (2) 掃除、消毒、換気などの環境整備、感染症予防具等の備品管理を徹底します。

6. 災害対策

具体的目標と指針

- (1) 火災時の動きを想定し災害発生時に職員一人一人が適切な対応ができるようにし

ていきます。

(2) 備品の確保及び保管庫を設置し、災害時に備えます。

7. 施設の保守・修繕

具体的目標と指針

(1) 入居者の生活に支障が出る設備の不具合については迅速に対応していきます。

(2) 備品を大切に使用する事、消耗品の節約や浪費を抑えるように取り組んでいきます。

【事業所名】 特別養護老人ホームしがそせい苑

重点目標

- (1) 利用者の尊厳を守り笑顔で過ごしていただける介護を目指します。
- (2) 新たに ICT 機器、介護ロボットの導入を図る事で、生産性の向上、介護現場の負担軽減に繋げ、働きやすい職場作りを目指します。

1. 安定した経営

具体的目標と指針

- (1) 利用者にあセスメントを行い正確な排泄間隔を把握し尿路感染を予防します。適切な排泄用品を使用する事で排泄用品の無駄遣いを無くします。
- (2) 誤嚥性肺炎を予防する為に他職種と連携し利用者に合った食事形態、介助方法、口腔ケアを実施します。
- (3) 入院リスクの高い尿路感染、誤嚥性肺炎を予防し入院者を減らし平均稼働率 96%を目指します。

2. 地域貢献

具体的目標と指針

- (1) 地域自治会の一員として防災会議や消防訓練、消火栓点検に参加します。
- (2) 感染対策を徹底し、いきいきサロンの開催を企画、開催します。

3. サービスの質の向上

具体的目標と指針

- (1) 研修や会議を通して施設内虐待の防止、虐待を許さない体制の風土をつくりコンプライアンスを徹底します。
- (2) 新たに法人理念、ユニットケアの理念、介護技術、接遇、を含めた新人職員マニュアルを作成する事でより質の良い介護を利用者に提供します。
- (3) 介護機器の導入を進めます。導入する事で新たにできる時間を利用者の余暇活動の充実に使います。

4. 人材確保と定着

具体的目標と指針

- (1) 新たに法人理念、ユニットケアの理念、介護技術、接遇、を含めた新人職員マニュアルを作成する事で統一した指導を行います。
- (2) 指導の職員はできるだけ固定します。また入職した 1 ヶ月後に面談を行う等、新人職員が相談しやすい環境を整えます。
- (3) 腰痛を抱える職員の為に勉強会を実施し、「抱え上げない介護」を進めていきます。
- (4) 介護機器の導入を進め職員の介護負担を軽減します。

5. 感染症対策

具体的目標と指針

- (1) 1 週間に 1 回の抗原検査を継続します。
- (2) 職員 1 人 1 人に感染防止を意識してもらおう為に感染管理委員会でポスター掲示、研

修を行い感染防止の啓発を行います。

6. 災害対策

具体的目標と指針

- (1) BCPの活用と見直しを行い、研修を通じて全職員に周知します。
- (2) 備蓄の確保と更新を行います。備蓄の数、種類、保管場所もBCPの見直しにあたって平行して更新します。

7. 施設の保守・修繕

- (1) エアコン、ユニット内の備品、ベッド、ベッドマット、網戸、トイレの扉など経年劣化した備品を計画的に整備します。
- (2) 利用者の居室の環境整備を行います。衣装ケースやタンスの上には物を置きません。面会制限が緩和され家族様が居室に入られても納得していただける居室作りを行います。
- (1) 日常で使用する福祉用具、共有で使う備品の不具合、破損を発見した場合には直ぐに対応いたします。

【事業所名】 ショートステイしがせせい苑

重点目標

1. 利用者に「また来たい」と思ってもらえる処遇を目指します。
2. 開設から20年以上が経ち、施設建物の老朽化や設備備品の不具合が認められる為、適切に把握し、計画的かつ適時の整備・修繕を行っていきます。

1. 安定した経営

具体的目標と指針

- (1) 空床情報や施設行事、クラブ活動などを家族やケアマネージャーにPRし、目標稼働率を目指します。また新たな居宅への営業PR活動を行います。
- (2) 備品管理や在庫管理を組織全体で行い無駄な出費を抑えます。

2. 地域貢献

具体的目標と指針

- (1) 認知症の方やその家族が安心して暮らせるまちづくりを行政や医療機関などと連携して進める。重度の認知症利用者を積極的に受け入れます。

3. サービスの質の向上

具体的目標と指針

- (1) サービス向上アンケートを年2回以上実施し、課題となったサービス内容を振り返り、業務改善や処遇面での改善につなげます。
- (2) 自立支援の援助として行っているスタンプカードの見直し、ケアプランに沿った総合的な支援で利用者の機能向上に努めます。

4. 人材確保と定着

具体的目標と指針

- (1) 派遣職員や準職員を含む職員全員が技術や知識をより広く学ぶためWEB研修などを積極的に利用します。腰痛を抱える職員のため、腰痛予防に取り組みます。
- (2) 職員の学習意欲を高めるため、全体研修に外部講師を招く。職員ひとり一人が希望する研修への参加を支援します。また、ピュアな会議や懇談、上司との面談で本人の想いが実現できる働きやすい職場づくりを目指します。
- (3) 介護福祉士、社会福祉士、実務者等、資格取得へのサポートをします。
- (4) 派遣職員から永山会正職員への登用を奨励します。

5. 感染症対策

具体的目標と指針

- (1) 施設内に感染症を「持ち込まない」を徹底し、感染拡大が起こらないように入所前のご利用者、ご家族健康状態の事前確認。入所時の検温、健康チェック、同居されるご家族の健康状態の確認を行う等、利用者家族やケアマネージャーとの情報共有や連携を強化していきます。

6. 災害対策

具体的目標と指針

- (1) BCP 計画の学習会の実施と作成、大規模災害を想定した訓練の実施を行います。
- (2) BCP 委員会を中心に作成した BCP マニュアルを基に非常時の体制を構築し、役割分担等を定めたマニュアルや、家族との連絡方法等、災害時に起こりうる状況や課題を想定して対応表を更新し、それを基に災害時、感染時は行動します。

7. 施設の保守・修繕

具体的目標と指針

- (1) エアコンなど開設20年以上が経ち経年劣化した備品を計画的に整備していきます。

【事業所名】 デイサービスセンター しがそせい苑

重点目標

1. 各居宅・包括への訪問しケアマネージャーから直接話を伺い新規利用者の獲得を目指して一日当たりの平均利用者数を増やしていきます。
2. 機能訓練の充実とより効果的な身体機能の維持向上を図り自立支援を目標とします。

1. 安定した経営

具体的目標と指針

- (1) 各事業所への訪問活動を行うとともに、未訪問の事業所を探し営業活動を行います。
- (2) 送迎ルートを見直し効率的かつ経済的、安全な運行を目指す。

2. 地域貢献

具体的目標と指針

- (1) 地域サロンや老人会などに出向き、介護の専門として介護職、機能訓練士、栄養士が介護予防に役立つ情報を発信します。
- (2) 速野学区で暮らす高齢者及び認知高齢者が安心して暮らせる仕組みづくりを自治会と協力して構築していきます

3. サービスの質の向上

具体的目標と指針

- (1) 「L I F E」を活用し利用者の生活状況を把握し、自宅訪問やサービス担当者会議に参加し、介護予防、機能向上を目指し、心身機能訓練から生活行為向上訓練まで総合的に機能訓練を充実させます。
- (2) デイサービスに来て頂いている利用者が、様々なレクリエーション(外出も含む)やクラブ活動を選択し、やりたい事・やれる事を見つけて頂きデイサービスに参加する事で楽しみや出来た時の達成感を感じそれがやりがいに繋がって行けばと思います。またその活動状況等を職員同士は情報として共有にし、今後のアセスメントに活かし個別性の高いサービスを提供します。

4. 人材確保と定着

具体的目標と指針

- (1) 人材確保、育成、定着についてはキャリアパスに沿った研修参加や、ピュアな職員会議、職員同士の懇談、上司との面談などで本人の希望が実現できるような働きやすい職場づくりにしていきます。

5. 感染症対策

具体的目標と指針

- (1) 全職員が統一した感染症予防対策出来るようにマニュアル随時整備していきます。
- (2) 感染拡大が起らないように利用前には利用者、家族の健康状態の事前確認。検温、健康チェック行う等、利用者家族やケアマネージャーとの情報共有や連携の強化を継続して行います。

6. 災害対策

具体的目標と指針

- (1) 利用中に大規模災害が起こることを想定した訓練を繰り返し行います。
- (2) BCP 委員会を中心に作成した BCP マニュアルを基に非常時の体制を構築し、役割分担等を定めたマニュアルや、家族との連絡方法等、災害時に起こりうる状況や課題を想定して対応表を更新し、それを基に災害時、感染時は行動します。

7. 施設の保守・修繕

具体的目標と指針

- (1) 開設 20 年を超えることから、利用に支障がでないように設備点検を行い、故障箇所は速やかに修繕を行います。

【事業所名】 居宅介護支援事業所 しがそせい苑

重点目標

- (1) 主任ケアマネジャー研修修了後に新しく特定事業所加算の取得と稼働率 85%を目指す。
- (2) 守山市からの指定を受けて介護予防支援を実施します。

1. 安定した経営

具体的目標と指針

- (1) 安定した事業所運営のために、要介護の軽度者 68 件・重度者 16 件、要支援 60 件を目標とし、新規の利用者獲得を進めていきます。
- (2) 事業運営の進め方や地域への広報、地域での役割、介護報酬における適切な居宅介護支援の加算算定に努めます。

2. 地域貢献

具体的目標と指針

- (1) 定期的なサロン再開にむけて企画立案の準備をすすめる。地域自治会の一員として防災会議や消防訓練、消化栓点検に参加します。
- (2) 困難事例や独居・認知症の利用者の支援については日頃より事業所内で情報共有し、迅速に対応できる体制を整える。また、地域包括支援センターとも情報共有し、地域課題が解決できるようにしてきます。

3. サービスの質の向上

具体的目標と指針

- (1) ヤングケアラー、障害者、生活困窮者、難病患者等、他制度に関する知識等に関する事例検討会、研修会に参加します。
- (2) 地域包括等が実施する事例検討会等に参加します。

4. 人材確保と定着

具体的目標と指針

- (1) 法人内で資格取得要件を満たす職員と勉強会をするなど介護職員の資格取得のための研修会を開催します。
- (2) 年 2 回の面談やミーティングや週 1 回以上の会議開催を通して職員間でのコミュニケーションを図り、働きやすい職場作りを行います。

5. 感染症対策

具体的目標と指針

- (1) 感染症の発生時に感染者の診療等を実施する医療機関との連携体制を構築します。
- (2) 職場内での感染予防対策強化を徹底します。

6. 災害対策

具体的目標と指針

- (1) 災害発生時における利用者の安否確認の手段を日常より把握し、事業所内で共有します。
- (2) 有事の際に担当利用者や地域の高齢者を支援するための協力体制を自治会と構築

します。

7. 施設の保守・修繕

具体的目標と指針

- (1) 事務所内の備品や電気自転車は定期的に修理やメンテナンスを行います。
- (2) 無駄をなくし法人の備品を大切に扱います。

【事業所名】 ケアハウスしがそせい苑

重点目標

- (1) コミュニケーションを通じておひとりお一人の個性を大切に、趣味の活動や、外出など自分らしく生活できるよう支援します。
- (2) 家族や親族と離れて暮らしていても入居者の暮らしを多くの支援者が見守ることが出来るよう、家族、親族、主治医、ケアマネジャー、友人との連携を強化します。

1. 安定した経営

具体的目標と指標

- (1) 入居者及び入居待機者数を確保するため、各居宅介護支援事業所や病院の地域連携室への定期的な訪問活動を行うとともに、入居希望があった場合は早急に連絡を取り、見学、面談を実施し、入居判定委員会を開催します。
- (2) 入浴のための効率的な給水を行い、食堂等の不要な電気の消し忘れに注意し、コスト削減に努めます。

2. 地域貢献具体的目標と指針

- (1) いきいきサロンあけとみ等、入居者が地域の行事やクラブ活動、催しなどに参加できるように支援します。

3. サービスの質の向上

- (1) 介護予防の推進、入居者の機能の維持向上のため本人の希望に沿った介護予防サービス等が提供されるように、地域包括支援センターや居宅支援事業所と情報を共有し、入居者がケアハウスでの生活を続けられるよう支援します。また、本人の日常の困りごとや希望を聞き取るために3ヶ月に1回の個人面談を行ないます。
- (2) 入居者が日々楽しく生活できるよう、また生活機能が維持できるようにクラブ活動や行事を開催します。

4. 人材確保と定着

- (1) 介護福祉士、社会福祉士、実務者等、本人の望む資格が取得できるよう支援し、派遣職員から永山会正職員への登用を奨励します。
- (2) 職員会議や面談を通して職員の思いを聞き取り、マニュアルを整備し、業務分担を行い、働きやすい環境を作ります。

5. 感染症対策

- (1) 感染症が発生した時に感染を拡大させないため、適切なゾーニングや感染予防策が行えるよう研修を実施します。

6. 災害対策

- (1) 入居者様と一緒に防災訓練に参加し、BCP計画に沿った訓練を行います。

7. 施設の保守・修繕

- (1) 各居室、共有空間のエアコンや照明、網戸、トイレなど、経年劣化に伴う不具合を修理・修繕します。